

# 華やかに秋の園遊会

天皇皇后両陛下主催の秋の園遊会が10月15日赤坂御苑に政府関係者、各界の功労者など約1800人が出席し開かれました。  
カンボジアのPKO（国連平和維持活動）で活躍した文民警察隊の山崎隊長に陛下は「その後の隊員の健康」を気遣われました。  
世界陸上女子マラソンで優勝した浅利純子さんは陛下から「調子は良かったですか」と尋ねられると「最高の仕上がりでした」と緊張気味。  
全米オープンテニスでベスト8の伊達公子さんは陛下に「多くの方々に励まされ頑張ることができました」と答えていました。  
初めて園遊会に参加された雅子さまは皇太子殿下と共に園内に華やかさをふりまかれています。

# ロシア大統領来日

国賓として10月11日夜来日したエリツィンロシア大統領は12日午前迎賓館で行われた歓迎式典に出席しました。  
大統領は7月に先進7ヶ国首脳との会談のために来日しましたが日本公式訪問は初めて。また反大統領派を武装制圧したあと非常事態宣言をした中での異例の外国訪問となりました。  
天皇陛下の先導で皇族方や細川首相夫妻と握手のあと閲兵。  
細川首相とエリツィン大統領との首脳会談は迎賓館「彩鸞の間」で2日間にわたって行われました。細川首相は「二国間の最重要問題である北方領土問題を解決し、関係正常化を図らねばならない」と発言しました。これに対しエリツィン大統領は「旧ソ連と他国との合意・条約は継承国家ロシアが履行する責任と義務を負う」と強調しながらも「領土問題は一番難しい問題だ」と解決時期については明言を避けました。  
首脳会談終了後、両首脳は今後の日露関係の基本的方向を示す「東京宣言」と両国の経済協力の強化を打ち出した「経済宣言」に署名、発表しました。  
東京宣言では北方領土問題について択捉、国後、色丹、歯舞の四島を明記し領土問題の解決に積極的に取り組むことがうたわれました。  
13日夕刻、3日間の滞在を終えて帰国の途につくエリツィン大統領。細川首相は今回の会談を「領土問題解決に向けた新たな前進基盤を築いた」と評価しましたが、東京宣言の成果はロシア国内情勢の民主化の進み具合にかかっていると言えそうです。